

令和2年度 藤枝明誠高等学校 学校評価（年間） ※ 評価基準 A：十分に実践されている B：ある程度実践されている C：不十分である D：わからない

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。							
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。							
重点項目	I 学習指導の充実 II 進路指導の充実 III 心豊かでさわやかな生徒の育成 IV 広報・渉外活動の充実 V 教育施設・設備の活用			(%)	学校自己評価		(%)	学校関係者評価
重点目標	項目	令和2年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標【 】は数値的目標	令和2年度実施結果（成果は○、改善すべき事項は◇）※丸数字は左欄丸数字に対応	評価	教員からのコメント（69名） （評価理由、意見感想、改善項目・改善方法、提案）		評価	学校関係者評価委員からのコメント （7名）
I 学習指導 の充実	授業改善への取り組み	①生徒の意欲が高まるような分かる授業を 実践するとともに授業改善に努め、授業ア ンケートの結果向上を図る 【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえ ば満足の比率)95%】 【授業満足度(生徒)と自己考査(教員)を年2 回実施（感染症対策休校等のため回数を減 らして実施）】 ②普通科と英数科、各クラス間、各教員間 の指導の格差を改善し、指導を共通化する ③定期テスト後に教科会議を開催し、学力 定着度の検証及び教科指導の改善を行う ④各教科、テーマを設定した研究授業を行 う	①◇機器故障の修理が完了しておらず、生徒の授業満足 度調査を年度末に1回行った。（集計は機器の修理の 完了を待って行く） ◇授業満足度調査の結果を活用した授業改善が確実に 行われるためのシステムの構築については、次年度以降 の課題である。 ②◇英数科と普通科の指導の共通化が進められてい るが、更に改善が必要である。 ○数学・英語で若手・中堅教員の指導力向上のため、 指導教員による授業改善指導が実施されている。 ③○教科会議を毎週行える時間割により、指導の改善の ための教科会議が実施されている。 ④◇長期の休校等もあり、研究授業が充分には実施され ず、ノウハウの共有化という目標の浸透には至ってい ない。	A 13.1 B 71.0 C 14.5 D 1.4	<ul style="list-style-type: none"> ・LARKを利用しての授業配信があったが、年間での配信日カレンダーや教科ごとのラインアップが整理されてよ かった。が、教科によって偏りが出てしまった。 ・教員に対する指導も充実させるべきである。 ・英語科では指導教員から授業のアドバイスを頂くことができ、日頃の授業改善に大いに役立った。 ・教員間での授業見学や情報共有等、コロナ禍ではあったが、改善しようという試みはできたのではないかと 思う。 ・若手・中堅教員への指導、溝口副校長による授業参観などによるアドバイスもあった。 ・管理職による授業指導が行われた。 ・研究授業が十分ではない。 ・研究授業は結局行われなかった。 ・自習ばかりする教員はしっかり授業を行うべきである。 ・テスト前の自習時間が多い。 ・授業内容は担当者がとても工夫している。カリキュラムや授業数などではない。何十年前か？ ・教科内でコミュニケーションがよく取れるようになった。 ・クラス目標や目的を明確にし、それを教員が共有する必要がある。 ・普通科と英数科の指導に格差があるため、教員の意欲も含めて改善が必要である。 ・普通科における若手教員の指導力向上に向けた手立てを講じなければならない。 ・英数科と普通科の共通化と同等にそれぞれの力量に準じた学習指導が必要である。 ・各教科の指導において、「普通科しか任せられない」「英数科しか任せられない」ということは好ましくない。 ・普通科と英数科の指導は大学受験の形態や受験校の難易度に影響される部分が大きい。現状では教科内容の 共通化は難しいのではないかと 思う。 ・コロナ禍において休校が実施され、授業の進度が遅れることになり、進度を保つために授業内容の充実が難しか った。 ・例年とは異なる対応が必要だったが、何とかやり切れた。学習進度は少し遅れている。どのように埋め合わせをし ていくか、教科ごとにしっかり確認することが大切である。また、生徒の定着度も例年に比べ低いのではないかと 思う。 ・国際教養コースの授業でALTの努力により、動画等を使った楽しめる授業になっている。もっと良い授業準備を するためにワークシートの共有等改善が必要である。①計画を立てる、②報告・連絡・相談、③メモを取る これら についてALT担当者とも協議してALTを交えて改善を図りたい。また、ALT担当者をはっきりさせることも必要 である。 ・教科内で情報共有を密にしていきたい。 ・一方的に教員が説明をする授業は楽しくない。 ・ICTの導入・充実が必要。各階にテレビなどを設置してはどうか。 ・授業アンケートが1回だけだったのは残念だった。 ・授業アンケートの結果を振り返ることができなかった。 ・授業改善を図るためには様々な取り組みを行うだけでなく、教員が余裕を持って授業に臨めるような環境をつくる ことも必要だと思ふ。財務状況の問題もあるので難しいかもしれないが、教員の数を増やして、一人当りの授業コマ 数を減らすことを検討すべきだと思ふ。 		A 14.3 B 85.7 C 0 D 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入・充実について賛成だが、どのような 目的・場面・内容・予想効果がイメージできる 仕組みを考えるべきである。 目的：職員労務軽減、生徒通学時間負担軽減 場面：休日や長期休みでの家庭学習 内容：宿題、小テスト 効果：実施状況の把握、採点や結果集計にか かる時間軽減、生徒側には家庭にいなが ら小テストができ、通学にかかる負担軽減に つながる。 ・テスト範囲を終えるタイミングにクラスでば らつきがあるのは理解できるものの、「多い」 というコメントがあるということは工夫の余地 があると思ふ。 ・振り返りの時間、ポイント授業など、生徒の ためになる時間もつくっていただきたい。 ・教科会議が活用されていなそうである。ま た、この会議が教員負担になっていなければい い。 ・教員自身が楽なのではなく、教員も生徒も楽 しい授業になれば学力も向上すると思ふ。 ・若手教員の意欲を感じることができる。 ・コロナ禍の中で、今までとは少し変化した学 校生活だったが、授業を大切に思い、工夫・改 善する努力をされたと思ふ。 ・教員の指導力向上・改善をお願いしたい。 ・教職員の意識は高いという報告はありがた い。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導</p>	<p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る</p> <p>【9時まで学習参加率 65%以上目標】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う</p> <p>【英検 2 級 220 名以上、準 1 級 20 名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う</p> <p>【論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する</p> <p>⑦大学入試共通テストに対応した問題を定期テストに導入する</p> <p>⑧不測の事態により休校となった場合でも、インターネットを利用した授業配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p> <p>⑨平常時も家庭学習を充実させるため、定期的にインターネットを利用した授業配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p> <p>⑩ICTを利用したオンライン授業(双方向授業)が実施できるように環境を整備し、オンライン授業を実施する。</p>	<p>①○コロナによる休校等による学習内容の定着に不安もあってか、例年以上に、図書室における放課後プロジェクト、及び職員室及や職員室前フロアでの個別指導を受ける生徒は増加した。</p> <p>○「9時まで学習」の参加率は、69%で約7割の生徒が参加しており、前年度の61%より増加した。</p> <p>②○各教科・各学年において、休校期間中も含めて課題等により細かな指導が実践された。また『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が各クラスで実施された。</p> <p>③○第2回英検まで【2級既取得者数 297名、準1級既取得者数 22名】であった。これは英語科教員によるきめ細やかな一次・二次試験指導の賜物であると考えられる。2級取得者目標数については、次年度 250名に変更予定。</p> <p>④○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑤◇ドリーム・ゲイトウェイ・プログラムは実施されたが、コロナ禍により国外からの教育訪問団との交流が全く実施されず、真にグローバルな視点を持った発信力の涵養ができなかった。</p> <p>⑥○土曜日を利用した教科横断型授業を高3総合コースで実施し、生徒の学習に対する意欲の向上に貢献できた。</p> <p>⑦○各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行った。</p> <p>⑧○コロナウィルスによる休校期間中も LARK を利用して授業配信を行い、学力の定着と向上に努めた。</p> <p>⑨○休校期間後、平常時も家庭学習を充実させるため、定期的に LARK を利用して授業配信を行い学力の定着と向上に努めた。</p> <p>⑩◇オンライン授業(双方向授業)については、LARK を利用しての HR 活動が一部クラスで実験的に行われたのみで、全面実施には至っていない。</p>	<p>A 26.1</p> <p>B 63.8</p> <p>C 8.7</p> <p>D 1.4</p> <p>・「スタディサプリ」導入の件があったが、教科・進路課を含めたプロジェクトを編成すべきである。</p> <p>・感染予防措置を講じながら、「9時まで学習」、英検指導、模試受験、夏期講座等、大学入試対策をある程度実施できた。</p> <p>・生徒への個人指導等、入試に向けたきめ細やかな指導はできている。だが、集団に向けたアプローチ(例えば補講など)が不十分である。教科ごとに考えていく必要がある。</p> <p>・様々な指導がきめ細やかに行われている。</p> <p>・学力の向上や定着に向けたプロジェクト等が年度や学年団によってばらつきがある。本来であれば教務の長である教頭や副校長といった立場の人がプロジェクトを打ち出し、体系的に進路指導を行っていくべきである。</p> <p>・LARK を利用してのオンライン授業を配信したが、生徒が全く視聴しておらず、形だけのものになってしまっていた。また、LARK のアプリ自体を消してしまっている生徒もいた。</p> <p>・LARK は生徒がどれだけ視聴しているのか、疑問である。</p> <p>・ICT の機材が不足している。他校ではプロジェクター・スクリーンが常設されている。まだまだアナログなところがある。</p> <p>・オンライン授業に対する意識、意欲に教員間に差があり、一部の教員に大きく負担がかかっていた。</p> <p>・授業配信は年間を通して滞りなくできた。関係の方々のおかげである。</p> <p>・LARK による授業配信の効果が薄かった。多くの時間をかけても、生徒が見た動画内容を反映する機会がないので、あまり効果はなかったと思う。</p> <p>・動画作成が授業再開後も続き、教員の負担が増した。やっている教員とそうでない教員で差が出ていて、不公平さを感じた。何か手当のようなものでカバーできないか。</p> <p>・休校分を取り戻したにもかかわらず、いつまでも動画配信をするのは負担が多すぎ。効果も疑問。</p> <p>・通常生活に戻り、部活動、学習共に忙しくなって、動画を見る余裕のある生徒は果たしてどれだけいるのか。</p> <p>・LARK による動画配信について、教員の負担や実施教科など、明確な情報がなく、混乱した部分があった。</p> <p>・LARK による動画の利用については学年間、HR 間の差が出たと思う。どのように利用するか学年内で十分検討した上で実施すべきであった。</p> <p>・LARK による動画配信については生徒自身がダウンロードしないと視聴することができないため、家庭に Wi-Fi が完備されていない環境の場合、困難だったと思う。</p> <p>・英検の取得状況などから、意欲的な生徒が増えていることが分かる。</p> <p>・英検の個別指導は今まで以上によく実施されている。</p> <p>「9時まで学習」や個別指導は充実していた。</p> <p>・「9時まで学習」の取り組みで学習習慣を身に付けることは良いことだと思うが、ただ自習を行わせるだけでなく、講義や授業のようなものを多くしたらもっと効果が出るのではないかと。</p> <p>・授業以外の講座が模試前等に定期的にあるとよい。</p> <p>・オンラインによる動画配信で学習が遅れが出ないように対応した。</p> <p>・オンラインでの授業配信も普段は手の届かない問題や内容を扱うのに都合がよく、意欲のある生徒の学力は例年より向上しやすかったと思う。それゆえ、上位と下位の差が開き、中位層が減少し、二極化の傾向もみられた。が、最終的には中位層も厚くなり、全体が安定してきた。</p> <p>・LARK 利用のオンライン授業はさらに改善の必要がある。</p> <p>・LARK 動画が利用されることは良いことであるが、教員負担が偏っていないかを検証すべきである。また、生徒の視聴の度合いも何らかの方法で調べ、改善に向けた取り組みが必要ではないかと。</p> <p>・配信授業の効果がどうであったか、知りたい。</p> <p>・LARK を利用した授業配信を行うために著作権等の保護を含めたルール整備が必要である。</p> <p>・LARK がまだどのような立ち位置なのかははっきりしていない。</p> <p>・一生懸命、動画(LARK)を作成したが、視聴率が上がっているとは思えない。どれくらいの視聴があり、どういう評価なのか知る方法があっても良いと思う。</p> <p>・LARK による授業配信では活用している生徒はごくわずかだと思う。どの生徒も一律に利用できる(利用しなければならぬ)環境が必要である。</p> <p>・土曜日にも授業があり、さらに LARK 用の授業するのには無理があった。</p>	<p>A 14.3</p> <p>B 85.7</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>・TOEIC (国際コミュニケーション英語能力テスト) の推進。昨今、企業における人事制度における能力テストとして TOEIC と GMAP (Globis Management Assessment program) が必須となってきている。GMAP はビジネスパーソンとしての基礎能力測定を目的としたテストである。大学入試や就職活動においてもプラスになると考える。</p> <p>・オンラインによる授業配信については、今後とも検討・対策を講じていただきたい。</p> <p>・LARK での授業配信は活用方法が不明である。</p> <p>・LARK での授業配信は学年やクラスによってバラツキがあったと思う。全くやっていないという話もあった。</p> <p>・コロナ禍の中、オンライン授業への取り組みは積極的にお願いしたい。</p> <p>・国際交流など、今後の大きな課題である。国内の状況がよくなれば、国内でも可能な交流など、検討していただきたい。</p> <p>・オールイングリッシュの授業は、全てとはいえないと思うが、とても魅力的である。</p> <p>・英検指導、「9時まで学習」など、今後是非続けていただきたい。講座授業等、積極的な取り組みで、実際古典の講座はありがたく受けさせていただいた。</p> <p>・「9時まで学習」はコロナ禍の中、感染予防対策を取りながらの実施は大変だったと思うが、来年度も続けてほしい。</p> <p>・「9時まで学習」、英検指導等、成果に結びついている。</p> <p>・「9時まで学習」等、受験生自らが学習に力が入るような指導の体制はとてもよいと思う。</p> <p>・英検 2 級取得への取り組みをさらに進めていただきたい。</p> <p>・生徒一人ひとりに対してきめ細やかな指導ができている。</p> <p>・コロナ禍の影響で今期の開始が遅れ、苦勞されたと思う。</p>
---	--	--	---	--

				<ul style="list-style-type: none"> ・国際教養コースも再検討すべきではないか。人数が少ないのに1クラス分の枠を確保するのはどうか。また、すべての授業を英語で行うといった魅力があってもいいと思う。 ・国際教養コースについて、特に現1年生を中心に代替案を考える必要がある。 ・明誠ダイアリーの活用が上手くいった。 ・土曜授業と7限授業をなくすと生徒はかなり生き生きするのではないか。 ・国語力向上のために論理エンジンを使用するのは良いと思う。論理エンジンで学んだことを家庭学習で復習できるようにするための取り組みを積極的に行うと良い。国語科で家庭学習の方法を考えていくべきである。 			
Ⅱ 進路指導 の充実	進路希望の達成に向けたきめ細かな指導	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る</p> <p>②教員の教科・進路指導の力量向上を図る</p> <p>③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う</p> <p>④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る</p> <p>【現役合格 95%】</p>	<p>①〇本年度は行事予定の変更で、高校2年生対象の6月22日、高校1年生対象の6月27日の進路ガイダンスが中止となった。これに対応するため、高校2年生は、1月23日(土)にライセンスアカデミーに協力して頂き大学説明会(来校6大学、リモート24大学、計30大学参加)を実施した。また高校1年生に対しては、11月28日(土)に進路課より「新入試制度とそのため準備」について講演を行った。進路学習では、高校1年生はベネッセ・リクルート・夢ナビシート等を利用し文理選択・進路探求の指導を実施、高校2年生には、3年生も利用した学研の「志望理由書マスターノート」の指導が実践された。いずれの取り組みも進路意識の高揚に役立った。</p> <p>②◇夏季の駿台研修には、若手を中心に例年10数人の職員が参加し、教科・進路指導力の向上に向け研鑽に努めていたが、本年は新型コロナウイルス感染症の為、実施されなかった。</p> <p>③◇外部模試結果の分析・検証の呼び掛けが不十分であった。</p> <p>④四大志望者の大学現役合格率は96%で目標の95%をクリアし、前年の92.74%を上回った。浪人12人と昨年(27人)より減少し、籍数の3.3%(昨年7.1%)で、現役主義の藤枝明誠の復活と言える。</p>	<p>A 30.4</p> <p>B 59.4</p> <p>C 4.4</p> <p>D 5.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3/6(土)の高1進路ガイダンスは生徒もよく食いついて、テスト前、進級前の非常に良い刺激となった。 ・オンラインでのガイダンスができたのは高1・2生にとってとても良かった。 ・リモートによる大学説明会が行われ、初の試みであったものの、一定の成果を上げられたと思う。 ・大学説明会はとても効果的であったと思う。 ・リモートでの説明会、講座等を利用して、きめ細やかな進路指導を行うことができた。 ・高3生が意識高く、進路に向けて取り組んでいたため、現高1・2生にも良い刺激になったと思う。 ・進路課主体の進路指導と学年団の進路指導によって生徒の進路意識は向上した。 ・コロナ禍のため研修に行く機会がなく、校内での情報共有にとどまった。 ・コロナ禍によってガイダンスの中止など、制限もあった。 ・担当教員のマンパワー。 ・高校3年の授業を担当していたが、模試の結果などを知らなかった。自分から確認すべきだったが、学校全体としても教員間で結果を共有して、検証するような仕組みを作った方がいい。 ・雑務が多く、教材研究に充てる時間が足りない教員が多い。 ・土曜授業の必要性を感じない。 ・国公立大学合格者数を前期段階でかなり多くすることができている。 ・制限があった中で、できる限りの指導を行った。3/8(月)段階で国公立大学合格者数は例年の数に達することができた。 ・各教科(5教科)から1、2名選出して新入試の対策プロジェクトを立ち上げるのも一つの方法か。 ・進路意識の向上につながった。 ・進路学習を行ったが、それをどう生かしていくかが課題である。 ・部活動などの関係で、教科の学習時間を確保することができなかった生徒がいた。 	<p>A 14.3</p> <p>B 85.7</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の情報は外へ出かけることが困難な分、生徒は自分たちで情報を集めていると思う。 ・全国模試の結果を大学ごとのボーダーライン検索に活用できるなど、生徒も活用できるシステムの構築とデータの蓄積をもっと進めてほしい。 ・大変な1年間だったと思うが、その中で大学合格率が上がったのは、きめ細やかな進路指導があったからだと思う。 ・これからも進路指導において、生徒の満足度を高め、現役合格達成を図っていただきたい。 ・現役合格率を高める学校の姿勢を評価する。 ・大学入試のためのきめ細やかな対応がとてありがたかった。助かった。 ・国公立大学や難関私立大学の合格者が多かったのは、教員の尽力の賜だと思う。
	難関大学等の合格に向けた指導	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する</p> <p>国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する</p> <p>【第3学年 進路目標】</p> <p>東大・京大・国公立大医学部の複数合格</p> <p>旧帝大→10名以上</p> <p>国公立大→80名以上(静岡大・静岡県立大30)、</p> <p>早大・慶大→10名以上、</p> <p>GMARCH・東京理科・関関同立→80名以上</p> <p>②旧帝プロジェクト(上位層の強化)</p> <p>③共通テスト対策講座</p>	<p>①〇昨年度は、国公立大のAO・推薦入試が合格者9名と苦戦をしたが、本年度は、総合型(旧AO)・学校推薦型選抜の合格者が17名と、33期生以来の二桁合格となった。これは、2年次後半より大学入試改革に対応するために、志望理由書や小論文指導(学研を利用)に取り組んだ学年団の粘り強い指導の成果と思われる。また例年、私大の指定校推薦の小論文指導では国語科教諭、面接指導では一部の教諭に対し過重な負担があったため、本年度は各学年団副担任の先生方にご協力を頂いた。</p> <p>国公立大学 →・・・計78名合格。</p> <p>難関私立大学 →・・・計68名合格</p> <p>②〇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導には英語・数学のゼミ方式の個別指導が実施された。また一般には国語の基礎～実践力定着の講座が開講された。</p> <p>③〇各教科とも定期テスト、配信講座等で工夫して対策して頂けた。</p>	<p>A 36.2</p> <p>B 49.3</p> <p>C 5.8</p> <p>D 8.7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科から難関国公立合格者が出て、後輩のよい見本となることができた。 ・小論文指導を担当したが、基礎的な内容が身についた状態だったので、指導しやすかった。2年次からの取り組みの成果ではないか。 ・国語科だけでは担えない専門的な小論文も増えてきている。各教科担当者の協力が必要である。 ・小論文の指導では副担任も十分に協力できると感じた。特に3年生の授業を担当している場合は指導がし易い。 ・トップ層を引き上げることも必要だが、中間層の学力向上のための手立てを講じる必要がある。 ・高3の「9時まで学習」も「直前対策講座」も粘り強く取り組ませることができた。 ・面接指導の分担が良かった(うまくいった)。 ・多くの教員が協力して指導にあたり、結果に結びつけることができた。 ・推薦入試の対策をもっときめ細やかにしていくべきだと思う。普通科の生徒がAO入試を甘く見ている。意識を変えなければならない。 ・学年生徒人数は少ないながらも昨年度の合格者数を抜いたことの意義は大きい。 ・国公立大学の推薦入試合格者が増加したことは、とても良い成果だった。 ・GMARCHレベルの合格者数を増やすためにも、文系・理系それぞれの主要3教科の学力向上が必要。このことが地方国公立大学の合格者数増につながると思う。 ・新傾向の入試に向けた準備はこれからの期待したい。 ・二次対策講座の質を昨年度までよりも高め、多くの合格者を出すことができた。 	<p>A 42.9</p> <p>B 57.1</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受験指導等における教員個々の力もさることながら、協力して生まれる力は素晴らしいと思う。 ・難関私立大学への合格者増など、進路指導への意欲を感じる。 ・やはり指導の積み重ねが大切だと実感する。 ・学習塾へ通わなくてもいい「9時まで学習」とともに高いレベルでの進路情報の提供をお願いしたい。 ・新入試制度やコロナ禍で例年とは試験内容が変更になった大学もあったが、指導のおかげで大きなトラブルもなく、無事入試ができた。

<p>Ⅲ 心豊かで さわやかな生徒の 育成</p>	<p>社会性や道徳心の育成</p>	<p>①礼節を重視し、様々な場面で、マナーや社会的規範意識を育成する。正門一礼や予鈴黙想の励行なども継続して指導する</p> <p>②校外の美化や教室等の整理整頓に対する指導</p> <p>③交通マナーの指導を強化し、地域住民の苦情をなくすとともに交通事故防止を図る</p> <p>【交通事故 10 件以内】</p> <p>④徳育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する</p> <p>⑤生徒の様子を観察、生徒面談、いじめ調査等を活用して、いじめ行為防止に取り組む</p> <p>⑥インターネットなど SNS についての啓蒙を行い、問題発生を防止する</p> <p>【いじめ調査年 3 回実施】</p> <p>⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、人間関係構築、カウンセリング、コーチング等）の研修を実施する</p>	<p>①○礼節指導を継続して指導。挨拶は良好である。</p> <p>◇校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。</p> <p>② HR 担任の指導により教室の整理整頓。</p> <p>③○全職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導の実施。</p> <p>◇交通マナーについて、地域住民から苦情が時折寄せられた。（一時停止・併進）</p> <p>◇【交通事故 13 件】</p> <p>ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように日常の指導継続。</p> <p>自転車施錠点検を実施。施錠率率は向上したが、継続指導が必要。</p> <p>④◇問題行動・2 件 2 名</p> <p>⑤○いじめアンケートは 3 回(7 月、11 月、2 月) 実施。HR 担任の面談やアンケートの結果により、早期対応ができた。いじめに関する調査、メモカードの活用はいじめの防止に役立った。</p> <p>⑥スマホの約束。保護者、生徒に配布、確認書を提出。</p> <p>・ネット安全講座実施。SNS インスタグラム DM によるトラブル 1 件</p> <p>⑦減災・感染症対策セミナーの実施。</p>	<p>A 23.2 % B 60.9 % C 11.6 % D 4.3 %</p>	<p>・時代の流れかもしれないが、礼節・マナー等が以前より低下しているように感じる時がある。生徒の質ではなく、教職員の中で指導基準に差がある。一枚岩となって改善していきたい。</p> <p>・校内での挨拶やマナーなどは良好であった。</p> <p>・制服の着こなしに学年・科・部活による差が目立った。</p> <p>・社会性をもっと身に付けるような講座を受けさせた方が良い。</p> <p>・問題行動発生件数も少なく、生徒の育成という点では目標が達成されている。</p> <p>・全体的に校舎内がよく整頓されていると思う。この指導は今後も続けていくべきである。</p> <p>・交通マナーの指導はくり返し行っていかなくてはならない。</p> <p>・交通マナーに対する指導をより一層行っていく必要がある。</p> <p>・交通マナーの悪さが目についた 1 年間だった。</p> <p>・交通マナーに対する苦情もあったが、大きな事故は発生しなかった。</p> <p>・帰途で生徒の並進(自転車)を身かけたら、注意したい。</p> <p>・全校集会時に行われる校門指導について、教員の多くが校門の内側で話をしているだけのようと思う。担任はクラスの駐輪場指導を行い、副担任は学校周辺の交通指導に当たるなど、改善の余地がある。</p> <p>・校門の全体指導では多くの教員がただ並んでいる感が強く、分散して機能性を上げた方が良い。</p> <p>・男女平等が世間で言われている中、「女性として」を謳い文句している乙女塾は時代的に古い。女子が入る部活の数も男子とほとんど変わらない。乙女塾強制参加でお金がかかるのはどうかと思う。ジェンダーの悩みを抱えている生徒がいるのだから、廃止した方が良い。</p> <p>・科によって指導の一貫性がない。</p>	<p>A 0 B 85.7 C 14.3 D 0</p>	<p>・交通マナーは命に係わること、また、礼節・マナーも学校の顔にもなることなので、指導の質を向上させてほしい。</p> <p>・大きな事故がなく、何より。交通マナーの向上が事故防止の近道である。</p> <p>・校門指導等、指導効果を考え、有意義な時間となるように工夫していただきたい。</p> <p>・交通マナーについては群れなければ、それほどマナーは悪くないと思う。</p> <p>・交通マナーについてはくり返し指導をお願いしたい。</p> <p>・校外での交通マナーについて、シャツをズボンから出して自転車に乗っている生徒や道に広がって自転車を運転する迷惑行為をする生徒を何回か見かけた。</p> <p>・並進走行（友達と話をしながら）、一旦停止は特に注意が必要である。</p> <p>・明るくさわやかな生徒が多い中、毎年問題となっている生徒の外での気持ちのゆるみが減ることを期待したい。</p> <p>・挨拶はよくできていて好感が持てる。</p> <p>・乙女塾については数年前には興味深いと感じたが、昨今の動きからすると検討の余地があると思う。</p>
<p>Ⅲ 心豊かで さわやかな</p>	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>①欠席や遅刻等の減少を図る。</p> <p>②正しい身だしなみの指導を徹底する</p> <p>【学年全体風紀指導年 6 回実施】</p> <p>③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を徹底する</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する</p> <p>⑤校則の遵守</p> <p>⑥新型コロナウイルス 感染拡大防止及びインフルエンザ感染防止対策。 ・マスクの着用・手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る。</p>	<p>① 1 年生指導遅刻やや増加。3 年生の遅刻減少。</p> <p>②○学年校風指導を学年団の意思統一のもとで実施。校内では、服装面での乱れはないが、登下校時の制服着用の仕方を注意。</p> <p>【学年全体校風指導年 6 回実施】</p> <p>③ジャージ・サマーセーター等の着用特に問題なし。</p> <p>④HR 担任を中心に生徒課、授業、部活動を通し指導。基本的な生活態度はある程度確立されていた。更に職員の指導の共通性を図りたい。</p> <p>⑤○生徒は校則をおおむね遵守していた。</p> <p>⑥○各教室に手指消毒薬の設置と教室の換気、手洗い、マスクの着用の習慣化。職員による校内の消毒。 ◇外部商業施設等でマスクの不着用、数件の苦情。</p>	<p>A 23.2 % B 56.5 % C 18.9 % D 1.4 %</p>	<p>・1 年生の中には「指導遅刻」について把握していない者も少なくなかった。各学級で今一度指導が必要である。</p> <p>・1 年生の遅刻が多い。時間に対する意識が低いのか。</p> <p>・1 年生の遅刻が昨年度に比べ非常に多い。</p> <p>・特に、3 年生の遅刻の減少は大きい。また、服装規定違反も少なく、目立ったものはなかった。</p> <p>・マナーがとても良くなり、いい雰囲気になってきている。</p> <p>・マスク着用も年度後半には定着した。</p> <p>・マスク着用に対する指導が不十分であった。</p> <p>・マスク着用が不徹底だった。もっと注意する必要がある。</p> <p>・校内でのマスク未着用者がまだ目につく。昼食時などが少々心配である。</p> <p>・マスク着用(特に校外での)が徹底できていない。部活でも呼びかけているが、やはり気づいた教員がその場で注意し続ける他ないと思う。</p> <p>・冬場の登校時の服装の乱れが気になった。</p> <p>・特に女子を中心に制服の上からジャージを羽織っているのを見かけ、注意した。</p> <p>・平日にジャージを着て登下校する運動部員をよく見かける。</p> <p>・指定外マフラー着用が多かった。</p> <p>・普通科で少し問題行動があった。</p>	<p>A 0 B 85.7 C 14.3 D 0</p>	<p>・遅刻など、3 年生が良い手本になれば、とても良いと思う。</p> <p>・登下校の服装について、部活でルールを徹底させてほしい。</p> <p>・校則について、学校生活の良し悪しとの因果関係は生徒が言うことを聞けるかどうかと関係があると判断できる。校則は厳しければいいのか？ルールはなくても良いのか？考えてみる必要がありそうである。</p> <p>・遅刻については、これから社会人となり、どこへ行っても必ず時間の約束がある。その重大さを認識させる指導をお願いしたい。</p> <p>・マスク着用はこれから暑くなってくるとはずしてしまふ生徒が多くなりそう。注意が必要である。</p> <p>・明誠高校生としてきちんとした生活習慣を作るよう指導をお願いしたい。</p> <p>・部活のジャージで下校する生徒がかなりいる。</p>

<p>な生徒の育成</p>				<p>・女子生徒の指導において、髪を結ぶ位置の高低と普段の高校生活の良し悪しとはどのような因果関係があるのか。目的と手段をはき違えた指導が行われている。</p> <p>・「決められたルールを守ることは大切だ」「ルールに守られている部分もあるのだから他のルールも守るべきだ」という主旨の説明でしか、ポニーテールやツープロックを禁止している理由やその他の校則が存在している意義を説明できないのならば、そのような校則は無くしてしまった方がよい。</p>	
<p>部活動の充実</p>	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う</p> <p>【部活動加入率 80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす</p> <p>【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】</p>	<p>①○多くの生徒が部活動に加入している。</p> <p>【部活動加入率約 74%】</p> <p>○挨拶、校門での一礼等の率先。</p> <p>○テスト前の集団学習。</p> <p>○各部とも熱心な活動と各部活動を通じて人間形成の取組。</p> <p>○特にサッカー、野球、バスケ、陸上部による校庭・校外・体育館トイレの清掃と草刈り等環境美化に貢献。</p> <p>◇登下校時の服装、早朝時の自転車走行（併進、右側走行、一時停止）について指導。早朝時の登校服装注意。</p> <p>②○サッカー部の全国高校選手権大会出場を始め野球部の秋季県大会優勝、バスケットボール部が県大会2位。チアリーディング部（優秀賞全国1位）、射撃同好会が全国大会出場。陸上競技部の県大会での活躍。また文化部も吹奏楽部、MLAC等も活躍した。ほとんどの部が県大会に進出した。</p> <p>○【県大会出場～ほとんどの部、東海地区大会1部、全国大会出場～3部】</p>	<p>A 56.5</p> <p>B 39.2</p> <p>C 1.4</p> <p>D 2.9</p> <p>・清掃は引き続き注力していきたい。部活生を中心に素直に取り組んでいる。</p> <p>・美化によく貢献していたと思う。</p> <p>・部活動の生徒が清掃していても、なかなか他の生徒の意識が変わらない。</p> <p>・運動部員の清掃活動は素晴らしいと思うが、6限後の清掃では彼らが真剣に取り組まないのを見ると、学校美化に対する意識は高くないと感じてしまう。</p> <p>・顧問教員と部員が強い信頼感で結ばれていると思う。</p> <p>・全国大会で活躍する部活が増加した。</p> <p>・サッカー部の全国大会出場によって学校が活気づいた。</p> <p>・部活動を通して集中力が育ち、メリハリのある生活を送れるようになっている。</p> <p>・体育会系の女子の部活が増えることは生活指導上もとても良いことだと思う。</p> <p>・今後も学習と部活動の両立は課題である。</p> <p>・運動部の活躍は素晴らしいが、文化部の活動が低調である。進学校としては・・・。</p> <p>・多くの部活動がコロナ禍でチャンスが少なくなった中でも良い成績を取めることができた。</p> <p>・部活動で本校に入学した、という意識の生徒がおり、学習が疎かになっている者も散見された。</p> <p>・部活動顧問の負担を減らせるように、また、普通科の生徒がもう少し学習に打ち込めるように活動の量を見直してもいいのではないかな。</p>	<p>A 100</p> <p>B 0</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>・学習との両立は手本となる先輩などを紹介したりして、生徒が目標を持てるように指導してはどうか。</p> <p>・文化部は今年、特に活動の場が減り、モチベーションを保つのも大変だったと思う。</p> <p>・文化部の活躍の場が少なかったのが残念であった。</p> <p>・全国大会・東海大会・県大会での活躍があった。</p> <p>・サッカー部、チアリーディング部等の活躍が素晴らしかった。</p> <p>・生活態度の改善を図りたい。</p> <p>・文武両道で部活動の好結果。素晴らしいと思う。</p> <p>・文武両道は明誠の伝統だと思う。素晴らしい。</p> <p>・部活動の活躍は在校生、卒業生、地域の方々などの大きな力となっている。</p>	
<p>IV 広報・渉外活動の充実</p>	<p>効果的な広報活動による学校理解の促進</p>	<p>①広報誌の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める</p> <p>②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う。また、学校説明会参加者を増やす情報を提供する</p> <p>【年間訪問者 163,000人以上】</p> <p>③より本校理解が深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う</p> <p>④地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る</p>	<p>①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。</p> <p>○部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。</p> <p>○保護者会地区会で出された質問や要望への回答を文書で配布した。</p> <p>②○HPの訪問者数は横ばい。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行った。</p> <p>○2020.4.1~2021.3.17の訪問者(139,734)人。</p>	<p>A 40.7%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 7.2%</p> <p>D 7.2%</p> <p>・刊行物の滞り等は見られず、予定通り発行できた。</p> <p>・各広報紙ともタイムリーに、予定通りに配布された。学校の活動への理解に役立ち、募集にも好影響を与えている。</p> <p>・達成できたと思う。</p> <p>・一日体験入学参加者数に比べ、受験者数が伸び悩んでいる。12月実施の個別相談会につなげる仕掛けが必要である。</p> <p>・ここ数年でHPの質が向上した</p> <p>・広報紙等を利用して効果的に活動することができた。</p> <p>・少子化の中でどう生きていくか、明確な渉外戦略を練るべきである。</p> <p>・HPで学校からの諸連絡や部活動の実績を確認できることはとてもよい。</p> <p>・寮生の保護者が子どもの様子を確認できるような環境を整えておくべきである。</p>	<p>A 57.1</p> <p>B 42.9</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>・寮生について、多感な年頃の子どもの預かるのだから、たくさんの要望(親子)を吸い上げて、良い方向へ改善を進めてほしい。</p> <p>・学校名の「のぼり」が少ない。もう少し多くPRしたい。</p> <p>・広報紙の発行等、予定通りできたことは良かった。今後も継続できるように。</p> <p>・毎年毎年、大変な活動だと思うが、とても充実していて感謝している。</p> <p>・卒業生やその保護者の満足度が広報につながる。定員充足率を高めるためにさらなる学校理解促進のための広報(HPの活用等)を考えていただきたい。</p> <p>・HPは見やすく、また、更新もよくされていると思う。</p>

<p>IV 広報・渉外活動の充実</p>	<p>積極的な渉外活動の実践</p>	<p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する</p> <p>②小笠・榛原・焼津・島田・藤枝の各地域の訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集活動を展開する。また、袋井地区も訪問対象地区とする。</p> <p>③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る</p> <p>④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努めるとともに入試内容・方法について見直す</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症対策を施した上で「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る</p> <p>【学則定員の確保】</p>	<p>①②〇一日体験入学の参加者は生徒 1,678 人、保護者 1,057 人、合計 2,735 人と昨年度より 644 人増加した。また、1 週間後の説明会には生徒 73 人、保護者 60 人、合計 133 人の参加者があった。</p> <p>年間の説明会参加者は生徒 2,054 人、保護者 1,364 人となり、昨年度より 406 人増加した。</p> <p>〇志太、榛原地区への中学校訪問を職員で分担し、3 年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、小笠・袋井地区を重点地区として募集活動を行った、さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>各中学校が計画する進路学習会への参加依頼は 22 校(前年+3 校)であった。</p> <p>〇高校入試の志願者数は、普通科が 698 人(単願 180)、英教科が 763 人(単願 125)、合計 1,501 人(単願 305)となり、入学者は昨年度より単願で(47)名増加した。併願者の戻り(34)名を含め入学者は(339)名となり、学測定員 385 名に満たなかった。</p> <p>③◇福岡・札幌入試では、コロナの影響により受験者は 63 人(昨年比 30 人減)で、単願合格者は札幌の 1 名であった。併願合格者の中には本校入学に前向きな生徒もいたが、入学には至らなかった。学習特待生の入学につながるような方策を検討する必要がある。</p>	<p>A 36.2 % B 49.3 % C 0 % D 14.5 %</p>	<p>・どの教員も渉外活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>・コロナ禍での景気低迷、15 歳人口減少の中、受験生確保ができています。よく集まったと思う。</p> <p>・コロナ禍であっても多くの受験生が本校に興味を持ち、受験をしてくれた。渉外活動の賜である。</p> <p>・渉外活動は分担し、十分に行えた。募集活動を担当する人とならない人の基準が不明である。</p> <p>・1 日体験はコロナ禍の中で無事開催できて良かった。</p> <p>・1 日体験等の実施により、積極的な広報活動を行うことができた。</p> <p>・説明会などで、生徒や保護者に魅力を伝えることができた。</p> <p>・私学教員としての自覚のある教職員が多く、良い結果を生んでいる。</p> <p>・ハード・ソフトの両面で、地元の受験生に魅力を感じてもらえるような学校づくりをしていきたい。</p> <p>・後ろに大 を控えている高校(大学法人)とどう戦っていくかが今後の課題になってくると思う。</p>	<p>A 28.6 B 71.4 C 0 D 0</p>	<p>・私学の良さをこれからもしっかりとアピールしてほしい。</p> <p>・一つひとつの活動に自信を持って取り組んでいることが大きな成果につながっていると思う。</p> <p>・コロナ禍の中、より効率的な活動が必要である。静岡方面の学校を考えている志願者を留めるような広報・渉外活動をお願いしたい。</p> <p>・コロナ禍での渉外活動は大変だったと思うが、多くの受験生が集まって、よかったと思う。</p>
<p>V 教育施設・設備の活用</p>	<p>安全で快適な教育環境の実現</p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する</p> <p>②施設・設備のより有効な活用を図るとともに、机・椅子の整備等、教育環境の整備に努める(今年度で全教室の机・椅子の交換完了)</p> <p>③清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また事後の点検を行う。さらにポリッシャー清掃を推進する</p> <p>④破損箇所の把握と迅速な修繕を図る【6 月・11 月・2 月の一斉点検実施】</p> <p>⑤電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける</p> <p>⑥消灯、戸締まりの徹底を図る</p> <p>トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う</p> <p>不備のあった施設の管理担当に報告することに加え月単位で集計し全体に報告することで施設管理の徹底を図る</p> <p>⑦地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を実施し、生徒の安全を確保する</p> <p>⑧新型コロナウイルス感染予防対策として全職員で分担して毎日消毒作業を実施する</p>	<p>①〇毎水曜日早朝に理事長点検を実施し施設の安全を確保した。</p> <p>②〇机、椅子の交換が完了した。各教室の備品設置数を定め学習環境を整え。適切に使用されている。</p> <p>③〇水曜日点検後、必ず具体的な清掃指示を出し、点検を行った。各学校行事で外来者のある行事前は特に重点箇所を指示し美化に努めた。コロナウイルスによる休校期間にポリッシャー清掃の研修を実施。その後多くの職員が各所でポリッシャー清掃を自発的に実施した。総務課長直属の清掃担当生徒を新たに配属し、清掃点検と重点箇所の清掃に当たらせることで今まで以上に迅速に尚且つ細部に渡り清掃が可能になった。</p> <p>◇校舎の外はサッカー部を中心に朝清掃が行われ環境が保たれているが、雨天後や強風後のゴミや袋の散乱については無頓着面が全体で露になった。</p> <p>④〇破損箇所の点検はコロナ禍で 6 月は実施しなかったが、11 月 2 月に実施した。壁やグリーンシート、トイレペーパーホルダーなど全体で点検し修繕を行った。頻発する水回りの不具合については速やかに報告が上がるようになり、その都度迅速に修理対応することができた。</p> <p>◇1 月 2 月に生徒の不注意による壁などの破損が多発。生徒課と協力して注意喚起を実施した。</p>	<p>A 26.1 % B 46.4 % C 13.0 % D 14.5 %</p>	<p>・いつも校舎内が整理整頓されている。</p> <p>・職員・生徒共に美化活動に協力的であるが、校舎内外のゴミなどにも注意を向け、対応するとさらに良くなる。</p> <p>・朝は運動部員たちが敷地内を清掃してくれており、清々しい気持ちで一日を迎えることができています。</p> <p>・サッカー部を中心にした毎朝の清掃活動は本当に素晴らしい。すべての教員が認めている。</p> <p>・WiFi 環境が整うなど、今後の教育活動に生かせる設備が整った。これはとても良かった。</p> <p>・ICT 機器を多く設置することが必要である。</p> <p>・トイレをはじめとする水回りの関係設備の経年劣化が各所に見られる。</p> <p>・トイレの劣化が進み、あまりにも汚く感じる。</p> <p>・トイレの洋式化は急務である。</p> <p>・トイレを新しくすることを強く望む。</p> <p>・清掃レベルが低い。</p> <p>・生徒よりも職員のマナーの悪さが目につく。言葉遣いやトイレの使用、整理整頓状況、ゴミの分別等、生徒に指導する前に、職員個々の行動を戒める必要がある。</p> <p>・校内美化活動を強化し、より清潔な空間を作るべきである。</p> <p>・コロナ禍で普段から消毒および清掃については意識していたが、屋外ではその意識が薄かった。</p> <p>・敷地内外の清掃強化し、地域との共存についてももっと意識することが必要である。何らかの形で渉外活動にも影響が出てくると思う。</p> <p>・未施錠報告「0」の月を作りたい。部活動等へさらに呼びかけをする必要がある。</p> <p>・戸締りが徹底できなかった。</p> <p>・未施錠についての指導を徹底していかなければならない。</p> <p>・学校備品等の破損については、生徒側に弁償義務が生じることもある。どのような場合か例を挙げて周知したい。</p> <p>・黒板、チョークの質を向上させたい(消しにくい黒板、よく折れるチョーク)。</p> <p>・夏場のエアコンについて、故障が多く、効かない教室もある。修繕が必要である。</p>	<p>A 0 B 85.7 C 14.3 D 0</p>	<p>・生徒に入学できる学力があるだけでなく、経済的に余裕のある家庭であることが持続可能な経営に必要と考える。公立高校との差をつけ、優秀な生徒を集めるためにトイレの早期改修は必要と考える。</p> <p>・トイレ清掃(清潔)を授業とし、週 1 回で実施する。</p> <p>・トイレの清掃があまりできていないと聞いている。やはり、洋式を増やした方がいいと思う。</p> <p>・教育環境の整備でいつもトイレが上がってくる。よろしくお願ひしたい。</p> <p>・優秀な職員を確保する上でも清潔な環境をつくることは重要と考える。</p> <p>・指導者教員の質の低下は生徒の質の低下につながると思う。是非、大人が自覚を持ってほしい。</p> <p>・教員の言動について襟を正し、また、保護者との関係強化も図っていただきたい。</p> <p>・黒板、チョーク、空調等、指導する上でムダなストレスはない方がいいに決まっている。是非、改善を。</p> <p>・集中力のためにも空調は必要。</p> <p>・ペーパーレスは時代にそぐう。</p>

	<p>⑨原子力災害に対する避難計画を作成する</p>	<p>⑤○副校長による PC 掲示板の導入・活用によりペーパーレスが推進された。</p> <p>⑥○◇消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、昨年以上に最終点検で指摘される回数が減少した。戸締りにいては未施錠報告のあった施設管理担当にその都度報告し、集計したものを定期的に全体にも報告することで頻繁に未施錠となる個所を認識してもらうことで改善を図った。しかし未施報告 0 の月はない。</p> <p>⑦○新型コロナウイルスによる休校から 9 月に防災訓練と防災学習を実施し、防災意識を高めた。</p> <p>⑧○新型コロナウイルス感染予防対策として年間を通して消毒作業を徹底して実施した。</p> <p>⑨◇原子力災害に対する避難計画は保留。</p>	<p>・勤務終了後(放課後)の管理について、生徒が 19 時 30 分まで校舎内にいることを踏まえた形を考えるべき。テスト時も生徒の完全下校が 17:00 で教員は 14:00 に勤務解除というのはやはりおかしいのではないか。</p>	<p>・大所帯なので甘く見ないで防災訓練等は実施してほしい。</p> <p>・敷地外の駐車場の整備を強く望む。</p> <p>・未施錠については注意が必要である。</p> <p>・防災訓練は是非、実施していただきたい。</p> <p>・生徒には今の環境に感謝の気持ちを持って生活してほしい。そして、学校には少しずつ施設・設備の改善をお願いしたい。</p> <p>・大雨や台風、地震等の災害時の対応が保護者にうまく伝わっていないのではないかと思う。交通機関を使用する生徒も多いので検討していただきたい。</p> <p>・教室内の整理はとともよくできていると思う。</p>
--	----------------------------	---	---	--